



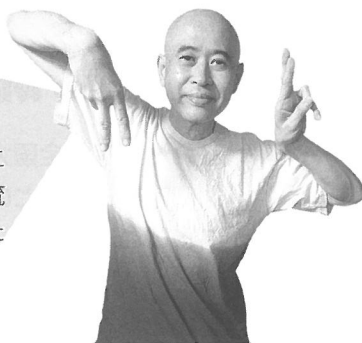
京都支部 石田 誠

### 第 16 分科会 知的障害のある人たちの生活と発達

■まさに、「これぞ全障研」！ 分野をまたいだ実践を、「生活年齢」に即して、その時々で大切にしたいことを話し合っています。「今」「ここ」を越えた、「未来」にもふれそうな濃密な分科会です。

### 特別分科会 1 教育条件整備

■教室や教員の不足が深刻化し、実践を行なうことが非常に困難になっています。各地の状況や改善を求める運動の交流を通して、「こんな実践をしたい」「そのためにはこういった条件が必要」という思いをより合わせましょう！



埼玉支部 児嶋芳郎

## 分科会一覧

◇乳幼児期の実践		12	障害の重い人の生活と支援
1	早期発見・対応、地域療育システム	13	暮らしの場での支援
2	保育所等および専門施設における保育・療育の実践 (1) 発達のおくれ、知的障害ほか	14	地域での生活と支援
3	保育所等および専門施設における保育・療育の実践 (2) 自閉スペクトラム症、発達障害	◇ライフステージを貫く実践と課題	
4	保育所等および専門施設における保育・療育の実践 (3) 肢体不自由・重症児	15	重症心身障害、肢体不自由のある人たちの生活と発達
◇学齢期の実践		16	知的障害のある人たちの生活と発達
5	通常学校における教育（通級指導を含む）	17	自閉スペクトラム症、発達障害の人たちの生活と発達
6	障害児学級の実践、交流・共同教育、障害理解学習	18	障害のある人の性と生
7	障害児学校の実践（1）幼稚部・小学部	19	障害者運動
8	障害児学校の実践（2）中学部・高等部	20	親、きょうだい、家族
9	放課後保障と地域生活	◇特別分科会	
◇青年期、成人期の実践		1	教育条件整備
10	学ぶ、楽しむ、文化活動	2	精神障害のある人の生活と権利
11	働く	3	なかまの分科会

# 分科会で会いましょう

全国大会2日目は〈乳幼児期の実践〉〈学齢期の実践〉〈青年期、成人期の実践〉〈ライフステージを貫く実践と課題〉時事的なテーマや開催地ならではのテーマで設定される〈特別分科会〉の5つの分野、23の分科会に分かれて、各地から持ち寄られたレポート報告をもとに議論を深め合い、交流の輪が広がられます。ここでは各分野の運営者のみなさんからのメッセージを紹介します。

### 第 4 分科会

#### 保育所等および専門施設における保育・療育の実践（3）肢体不自由・重症児

■子どもの小さな表現に込められたねがいをわかりたい。日々、これでよかったのかな…と悩むこともたくさん。そんな悩みや大事にしたいことを語り合い、「あー楽しかった、さあまた明日！」と明日からがわくわくするような分科会にしたいと思います。



大阪支部 安藤史郎

### 第 7 分科会

#### 障害児学校の実践（1）幼稚部・小学部

■学齢期の分科会では、子どもの姿を大切に、実践の悩みとその先にある楽しさを共有しながら、この時期ならではの教育のあり方を考えます。各地で奮闘する方々と一緒に、学齢期のおもしろさを再発見しませんか？



埼玉支部 山中冴子

### 第 14 分科会

#### 地域での生活と支援

■この分科会では、支援される人と支援する人が、障害をもちながら地域で暮らすには、どんな支援が必要か、立場を越えて考えていきます。また、参加者一人ひとりの「自立」について語り合います。



高知支部 松本誠司